更生保護支援に感謝状

洗心之家 寄付者へ伝達式



法務大臣感謝状を受けた浦田益之理事長(左)＝岐阜市柳ケ瀬通、ホテルグランヴェール岐山

更生保護法人洗心之家(岐阜市石谷)に本年度、多額の寄付を寄せた6人、1団体への感謝状伝達式が12日、同市柳ケ瀬通のホテルグランヴェール岐山で行われた。

同法人の浦田益之理事長と青山るみ評議員は法務大臣、西脇史雄岐阜大垣信用金庫会長、堀部明良長住不動産社長、福富悌福富医院院長は中部地方更生保護委員会委員長、同法人の竹腰兼壽副理事長と岐阜社会福祉事業協力会は岐阜保護観察所長の感謝状を受けた。

古山正成所長が一人一人に感謝状を手渡し、「地域の更生保護活動を支えていただき、大変ありがたい」とお礼を述べた。

同法人が運営する洗心之家は、刑務所を出所した女性らを一時的に保護し、食事の提供や就職のあっせんなどをして社会復帰を支援。国の補助を受けているものの、必要経費の一部は市民の寄付に頼っている。

伝達式の後、同法人は理事会と評議員会を開いた。地域の個人や企業、団体に広く支援を呼び掛けて活動の充実を図ることなどを盛り込んだ新年度事業計画を決め、3年間の任期満了に伴い理事、監事、評議員を改選した。

(井上愛)

無断複製・転載を禁じます